

6-3

ロックンウォール

適用範囲

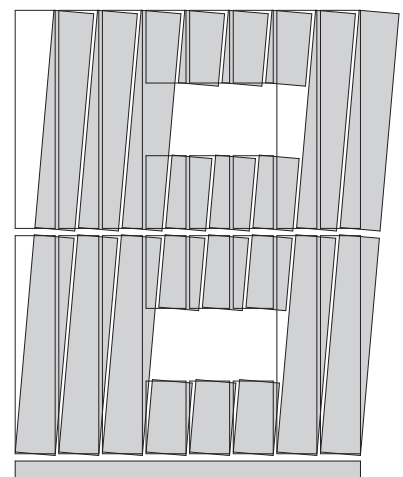
風圧力	正圧 1.827N/m ² 以下 負圧 1.217N/m ² 以下 かつ高さ 18m以下の建物
対象パネル	100mm 厚平パネル 100mm、125mm 厚意匠パネル

標準構法キープラン



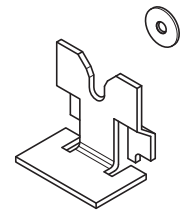
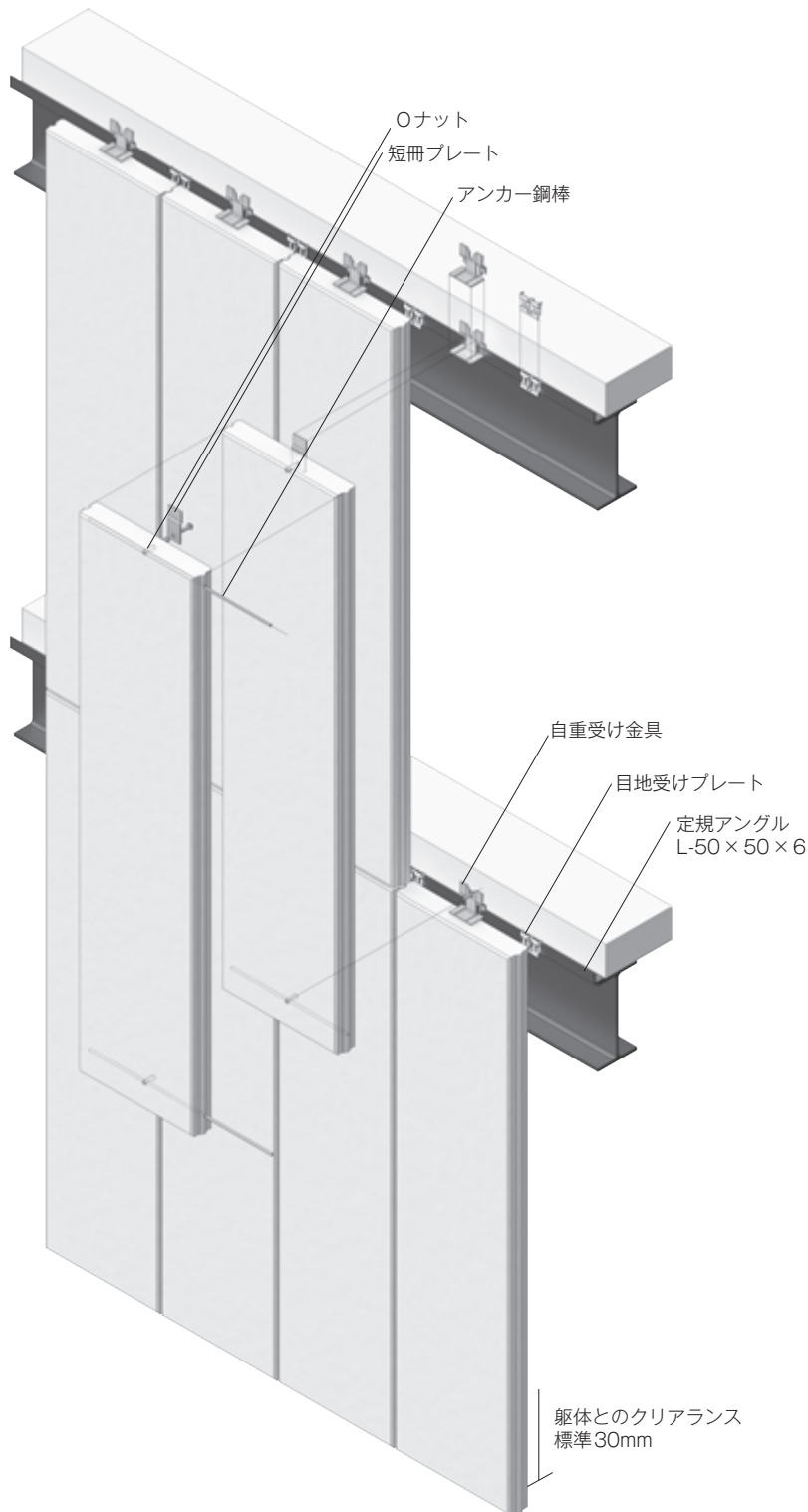
標準構法図A～Hの色文字は別途工事を示します。

地震時のパネルの挙動

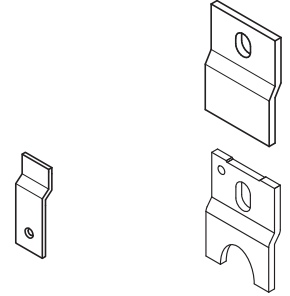


取付構法の概要

ロッキンウォール専用取付け金具



自重受け金具セット



短冊プレート

イナズマプレート

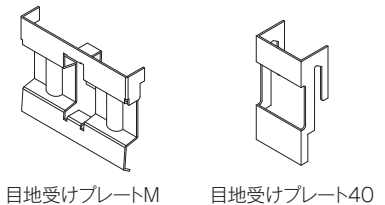


Oナットセット

アンカー鋼棒

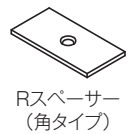


PUB金具

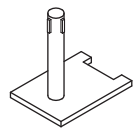


目地受けプレートM

目地受けプレート40

Rスペーサー
(丸タイプ)Rスペーサー
(角タイプ)

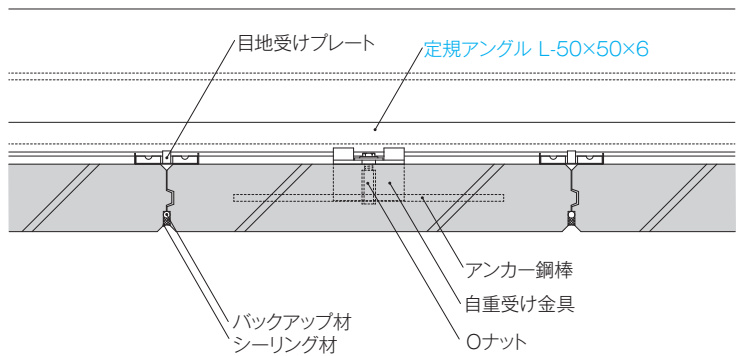
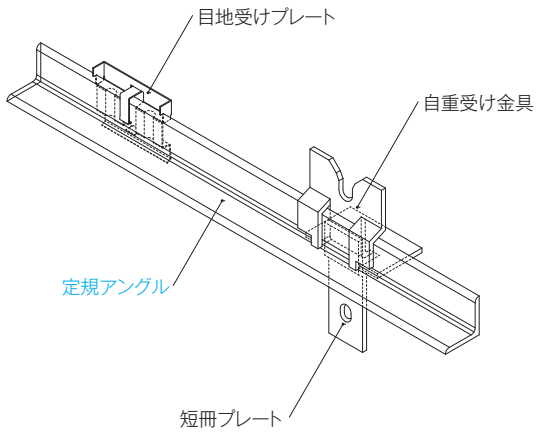
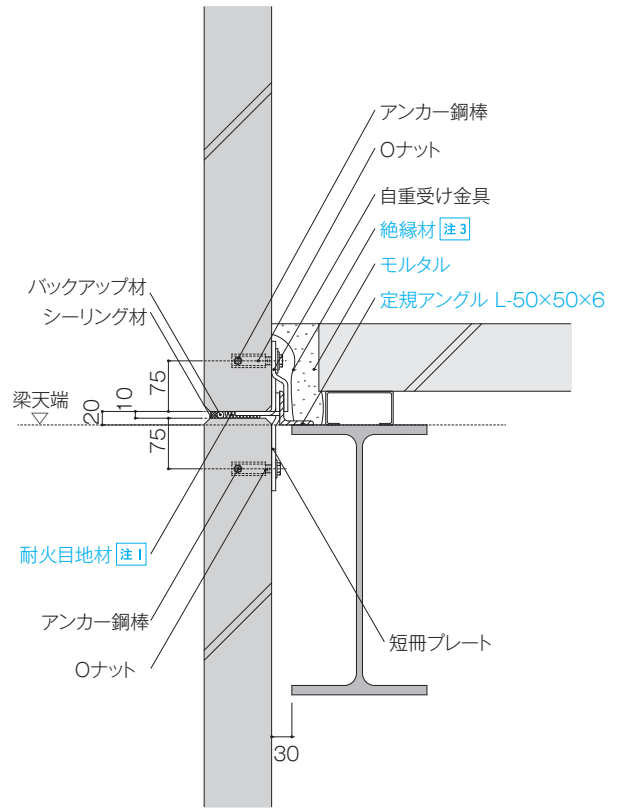
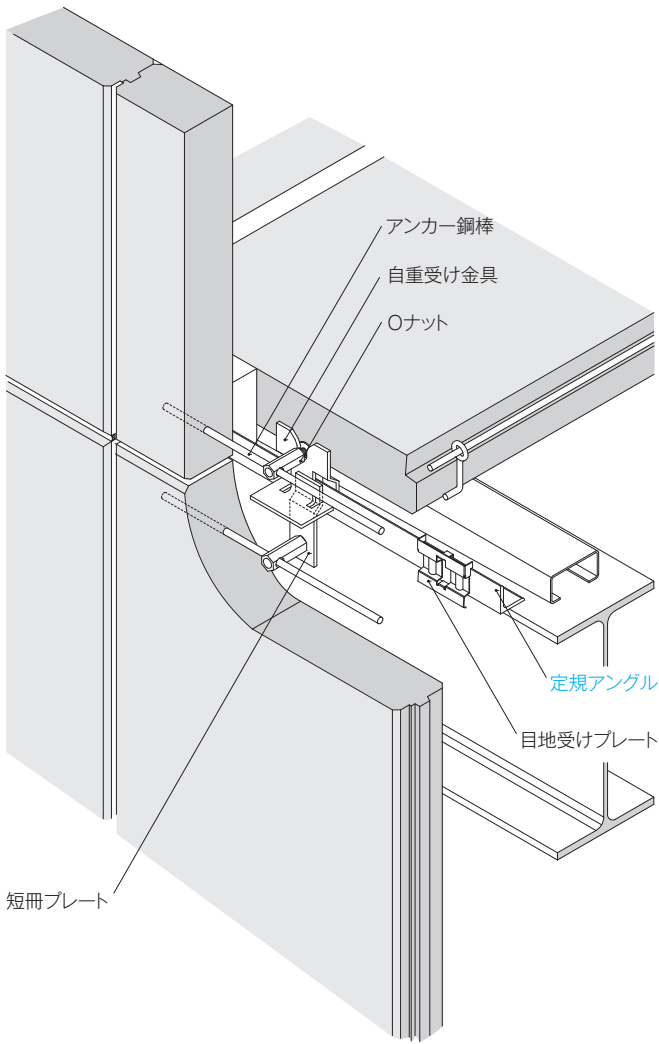
ベースクリップ



基礎金具

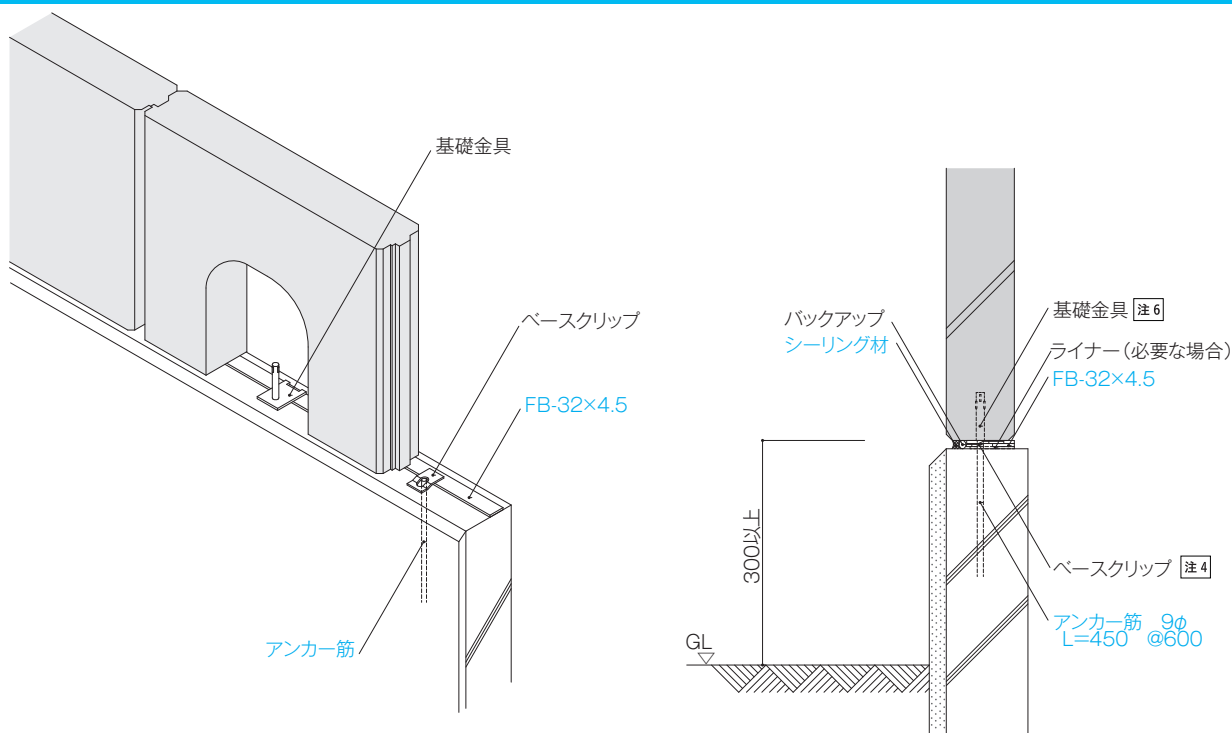
ロッキンウォールの注

- 注1 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。
- 注2 PUB金具：開口部周辺のパネルをPUB金具で取り付ける場合、パネル長さ1,500mm以下で、負の風圧力2,000N/m²以下の場合に使用できる。ただし、はね出しで使用する場合は、所定の許容荷重以下であることを確認する。
- 注3 絶縁材：床取合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。
- 注4 ベースクリップ：1階の基礎部には、アンカー筋とフラットバー・受アングルの接続のためにベースクリップを使用することができる。ベースクリップを使用する場合のRスペーサーは、角タイプを使用する。
- 注5 Rスペーサーは、厚さ100mm(意匠パネル100mm、125mmを含む)の場合に限り、丸タイプを使用することができる。ベースクリップを使用する場合は、角タイプを使用する。
- 注6 パネル上部が取り付け梁がスラブのない中間梁の場合は、基礎金具は使用できない。



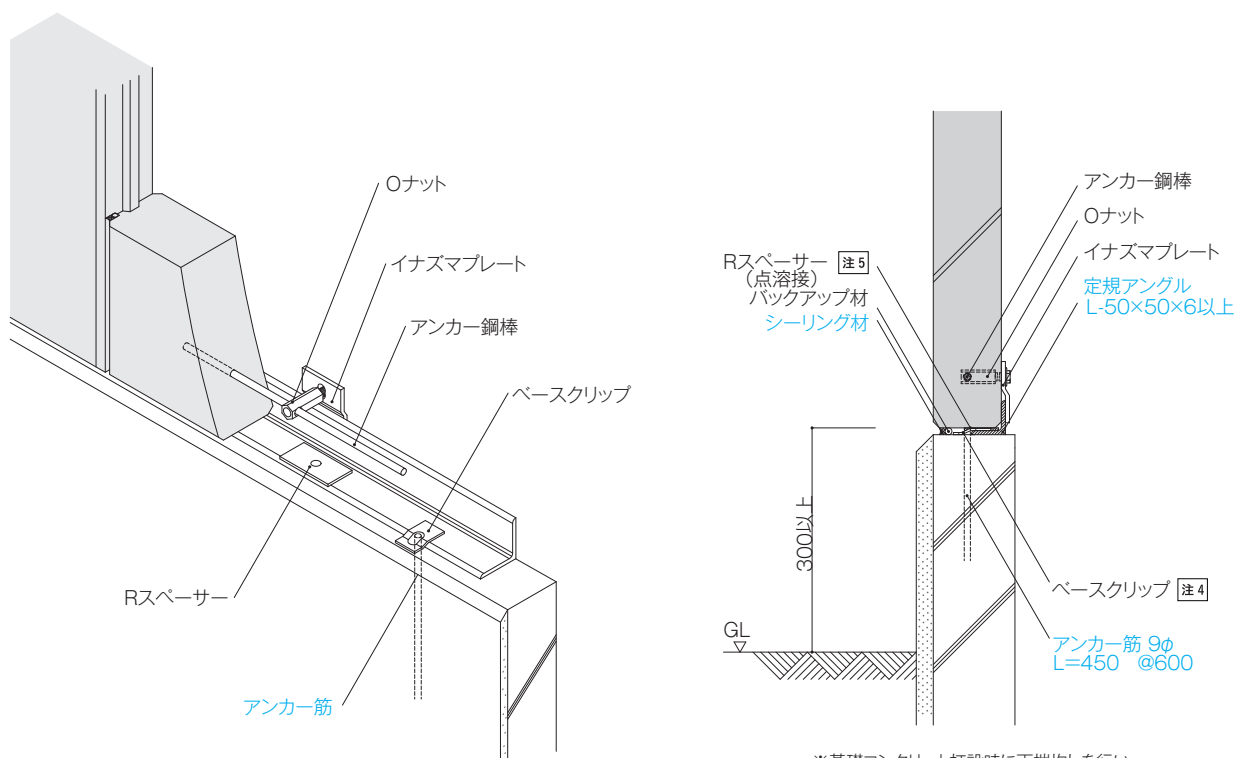
[注1] 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。
 [注3] 絶縁材：床取合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。

基礎部 / B 部 (フラットバー + ベースクリップ仕様、基礎金具納り)



※基礎コンクリート打設時に天端均しを行い、レベル出しを行ってください。

基礎部 / B 部 (定規アングル + ベースクリップ仕様)



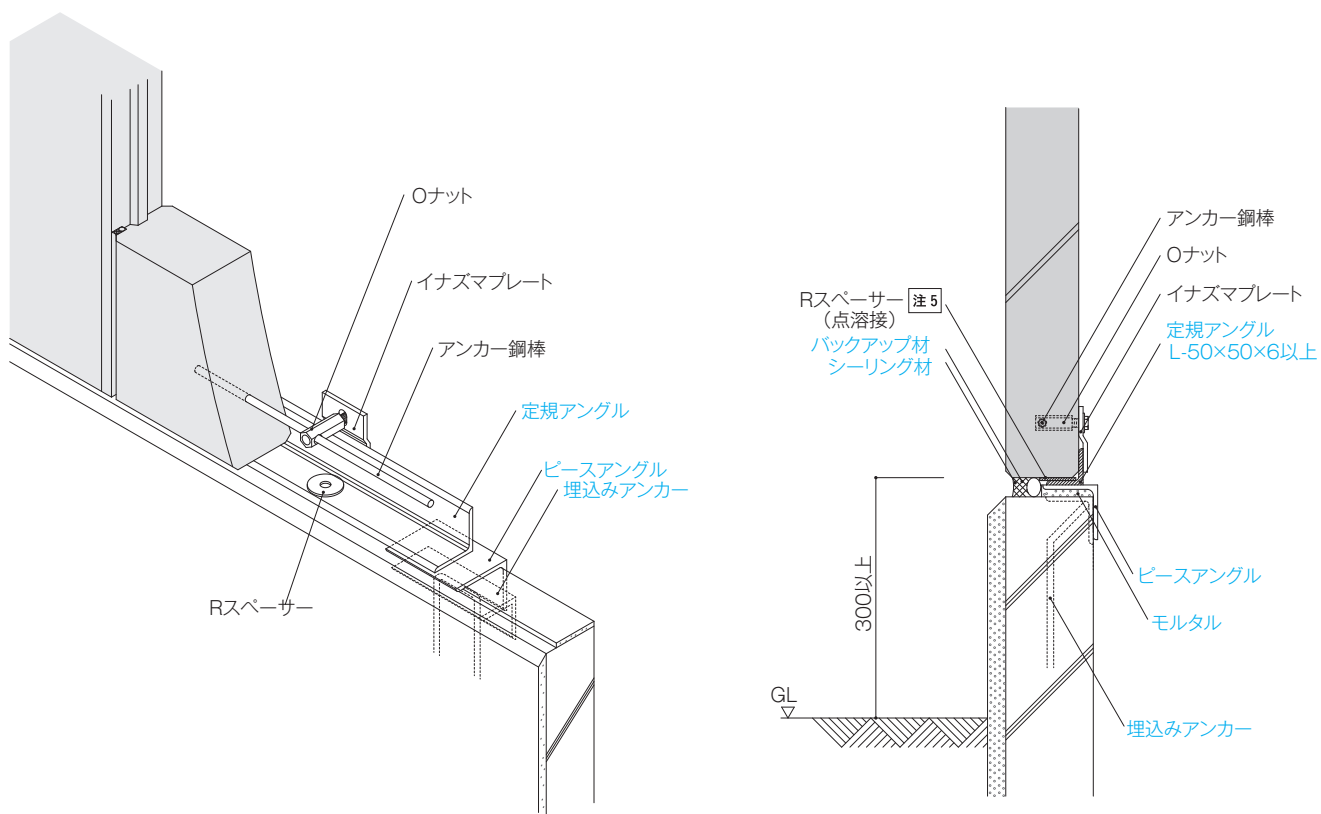
※基礎コンクリート打設時に天端均しを行い、レベル出しを行ってください。

注4 ベースクリップ：1階の基礎部には、アンカー筋とフラットバー・受アングルの接続のためにベースクリップを使用することができる。ベースクリップを使用する場合のRスペーサーは、角タイプを使用する。

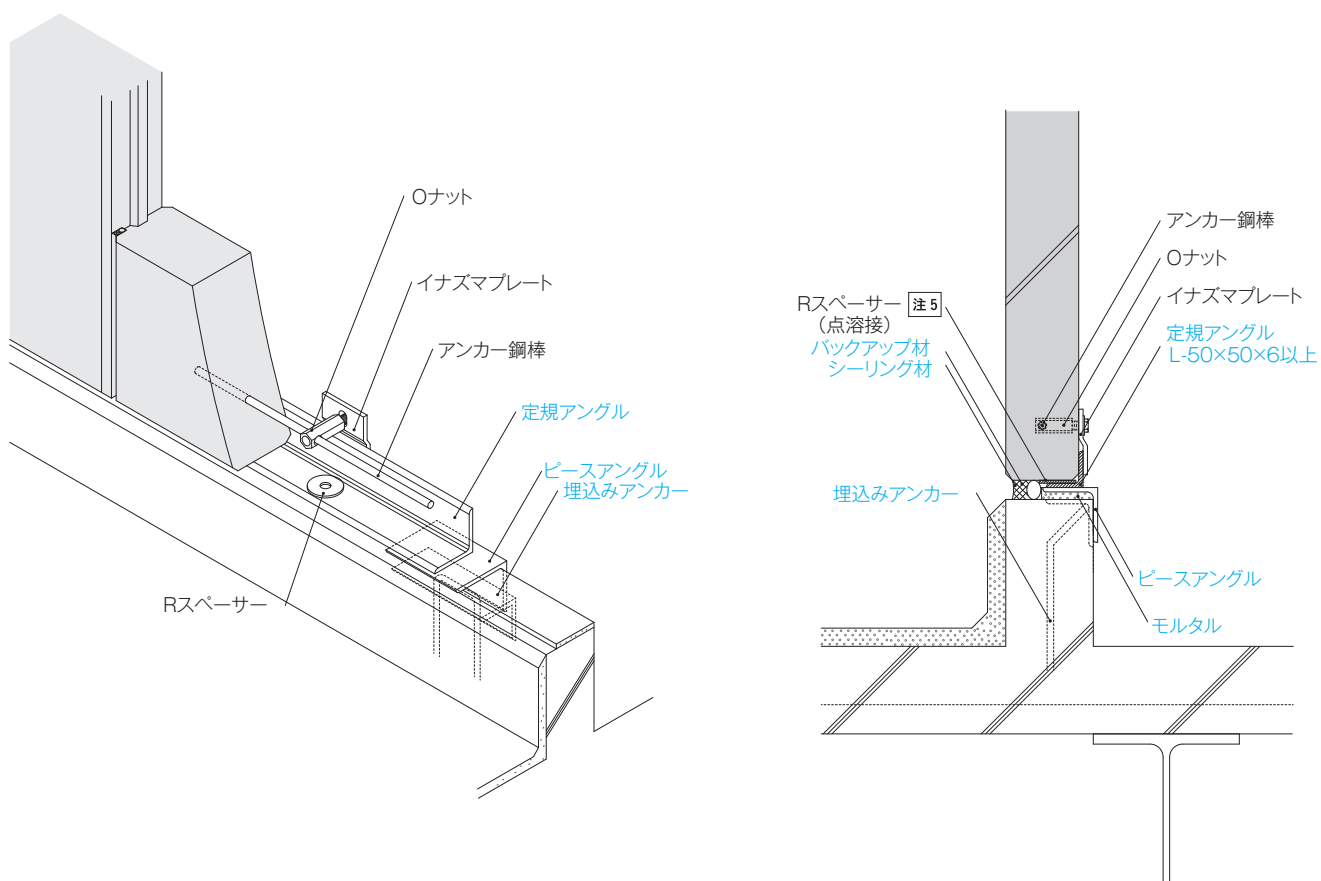
注5 Rスペーサーは、厚さ100mm(意匠パネル100mm、125mmを含む)の場合に限り、丸タイプを使用することができる。ベースクリップを使用する場合は、角タイプを使用する。

注6 パネル上部が取り付け梁がスラブのない中間梁の場合は、基礎金具は使用できない。

基礎部 /B 部 (定規アングル + 埋込みアンカー仕様)

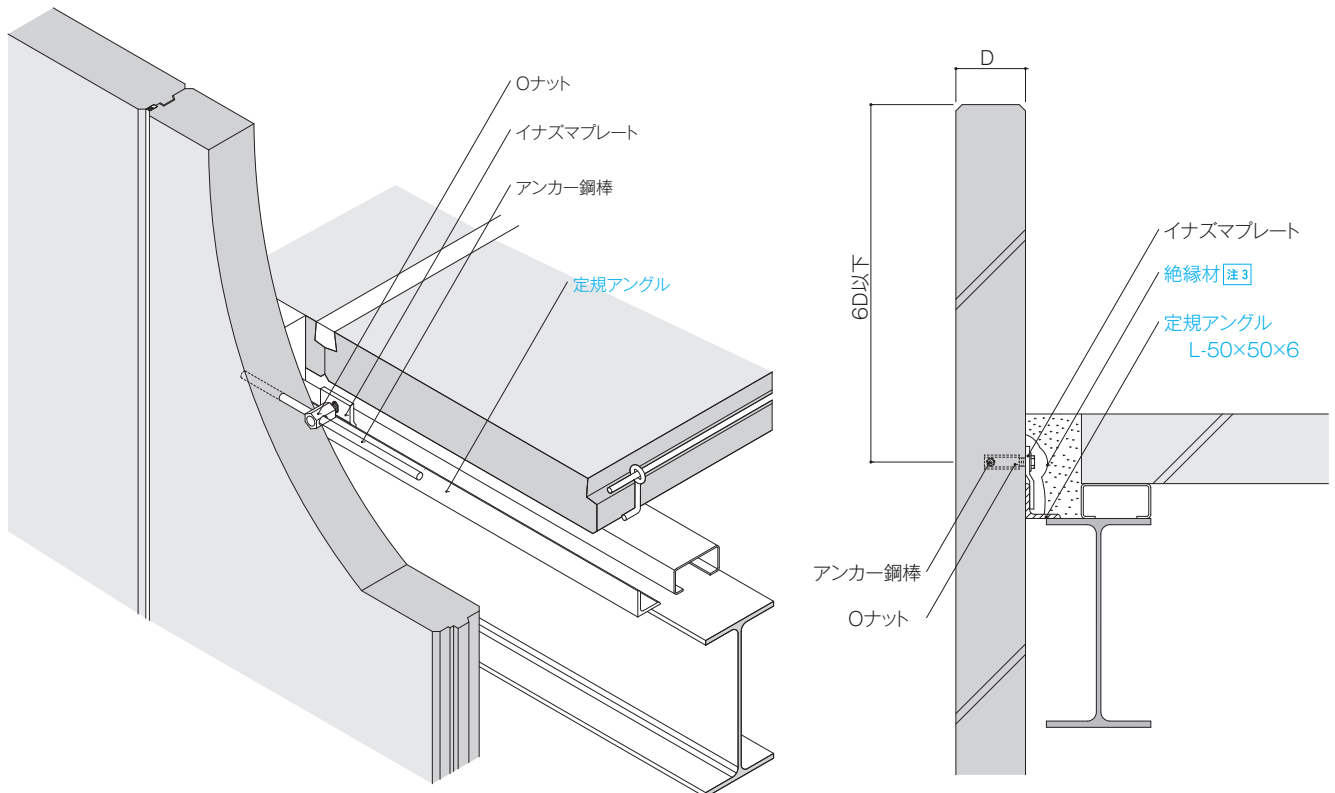


基礎部 /C 部 (2 階以上立ち上がり部、定規アングル + 埋込みアンカー仕様)

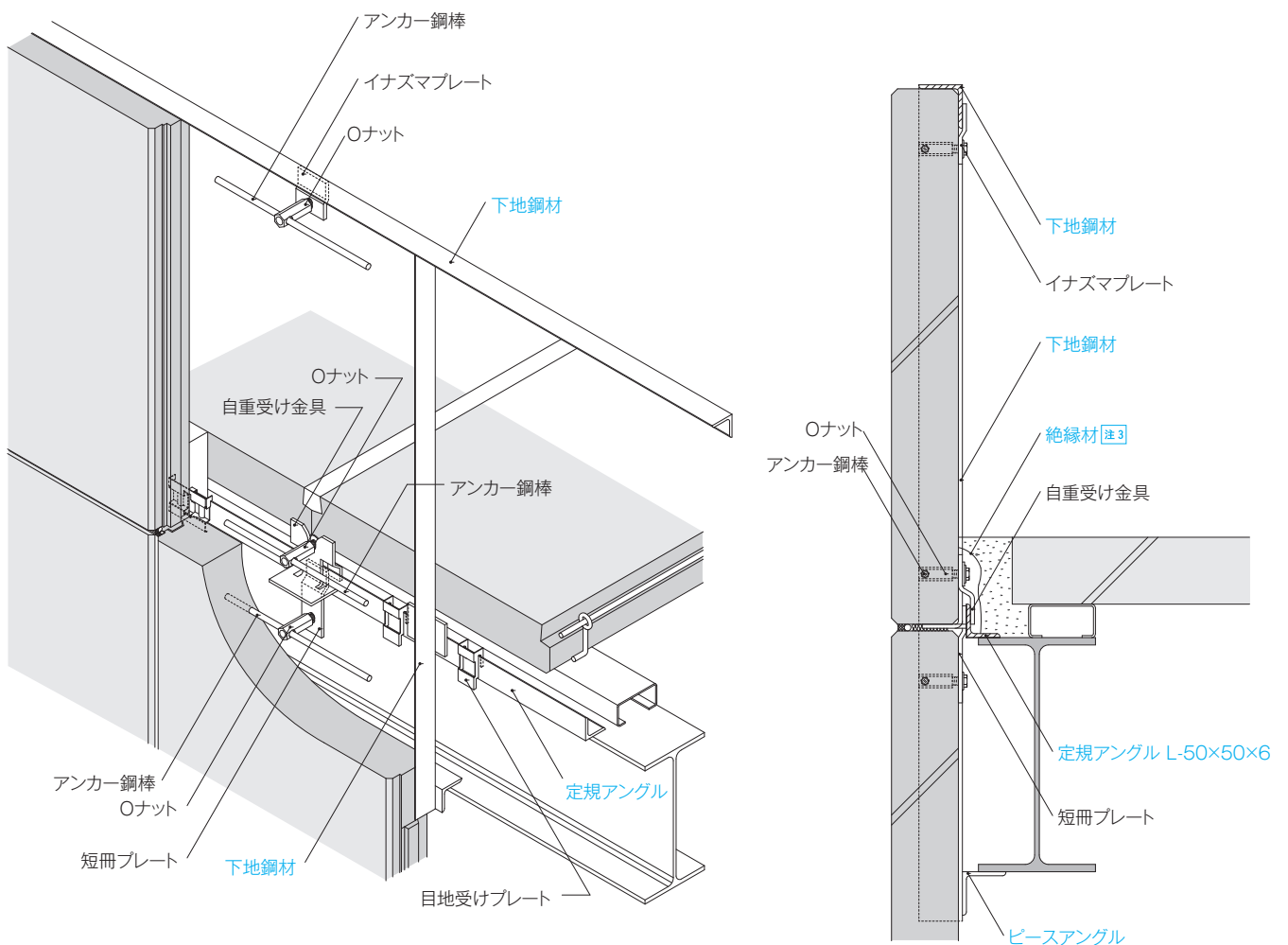


注5 Rスペーサーは、厚さ100mm(意匠パネル100mm、125mmを含む)の場合に限り、丸タイプを使用することができる。ベースクリップを使用する場合は、角タイプを使用する。

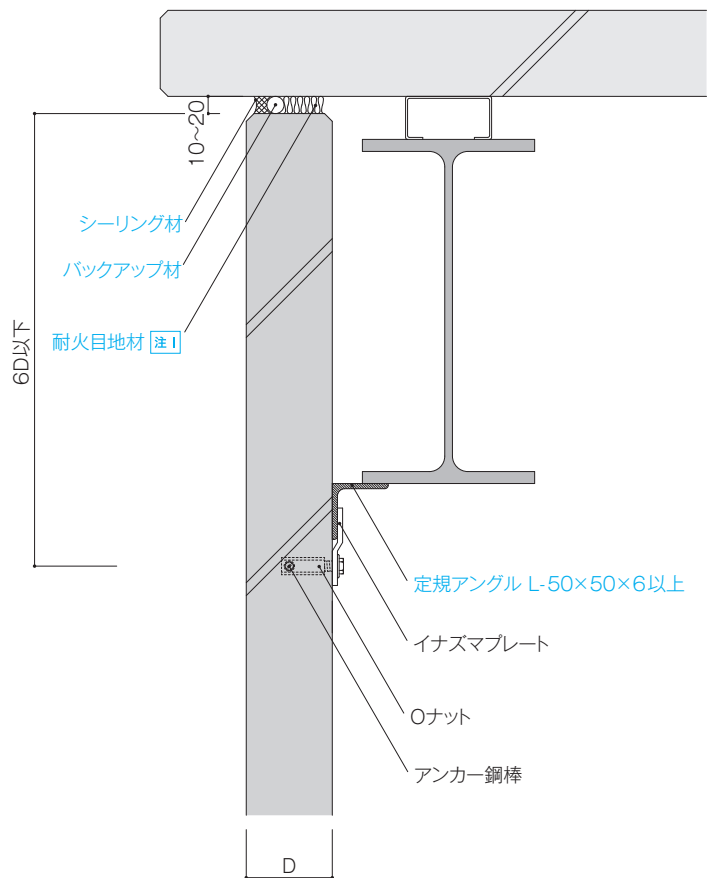
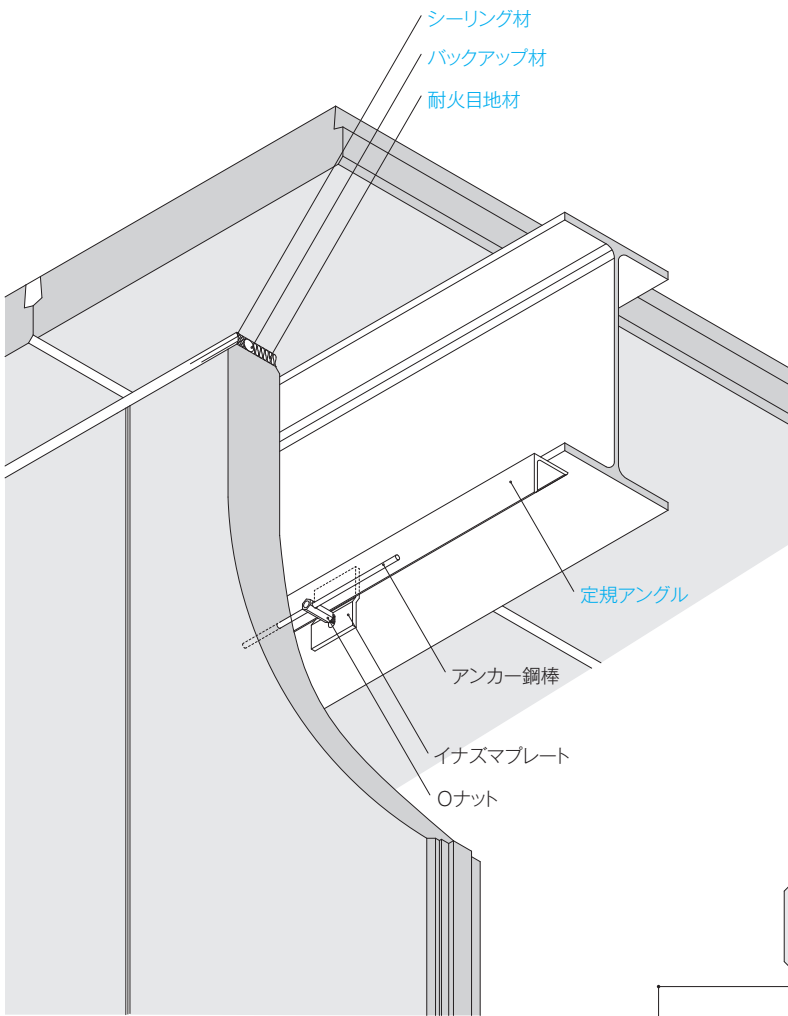
パラペット部 / D部 (6D 以下の場合)



パラペット部 / E部 (6D を超える場合)

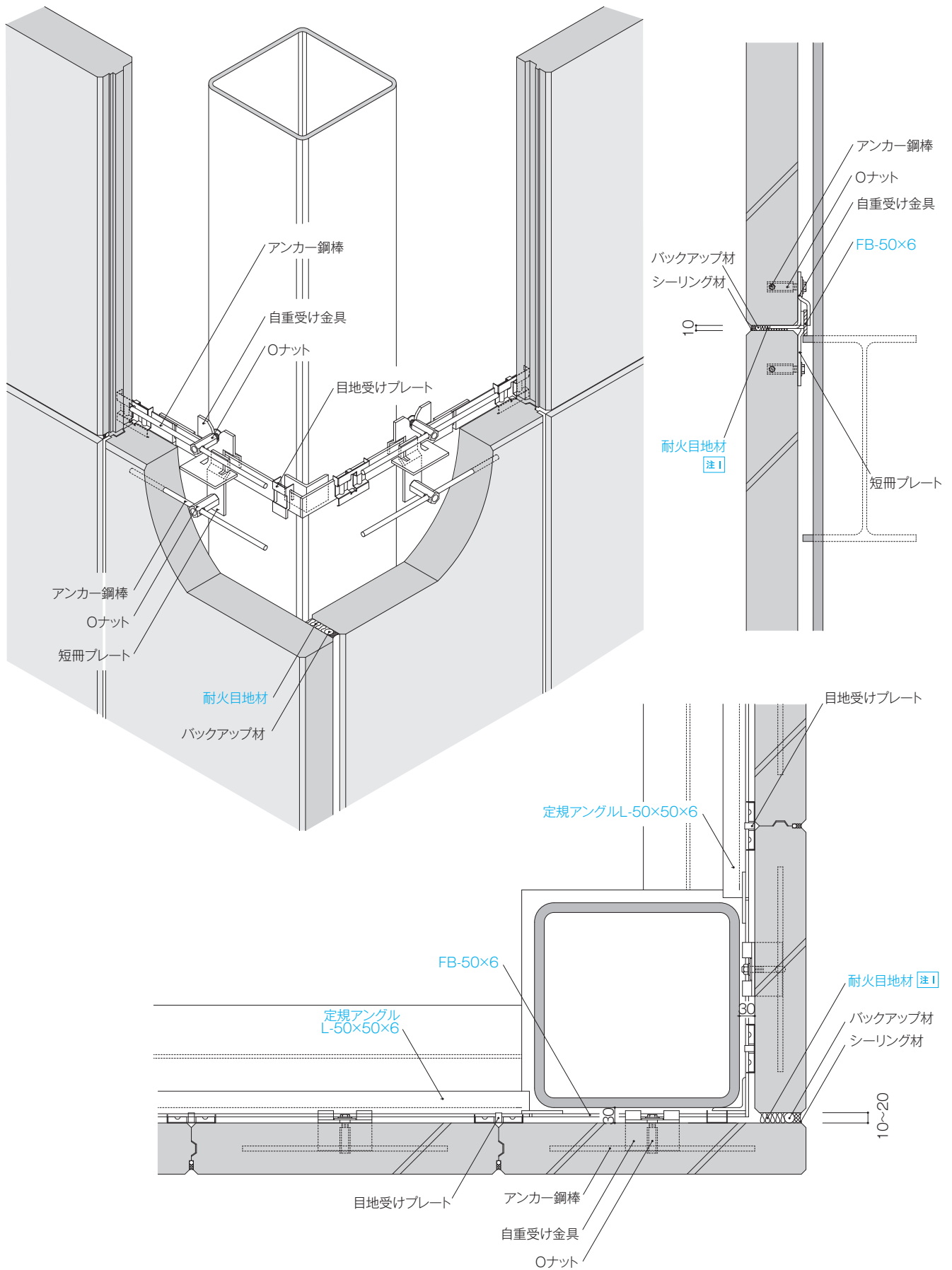


[注3] 絶縁材：床取合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。



[注1] 耐火目地材:横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする。

出隅部 / G 部 (平パネルを使用する場合)



I へーベル建築

II 外壁

III 間仕切り壁

IV 屋根

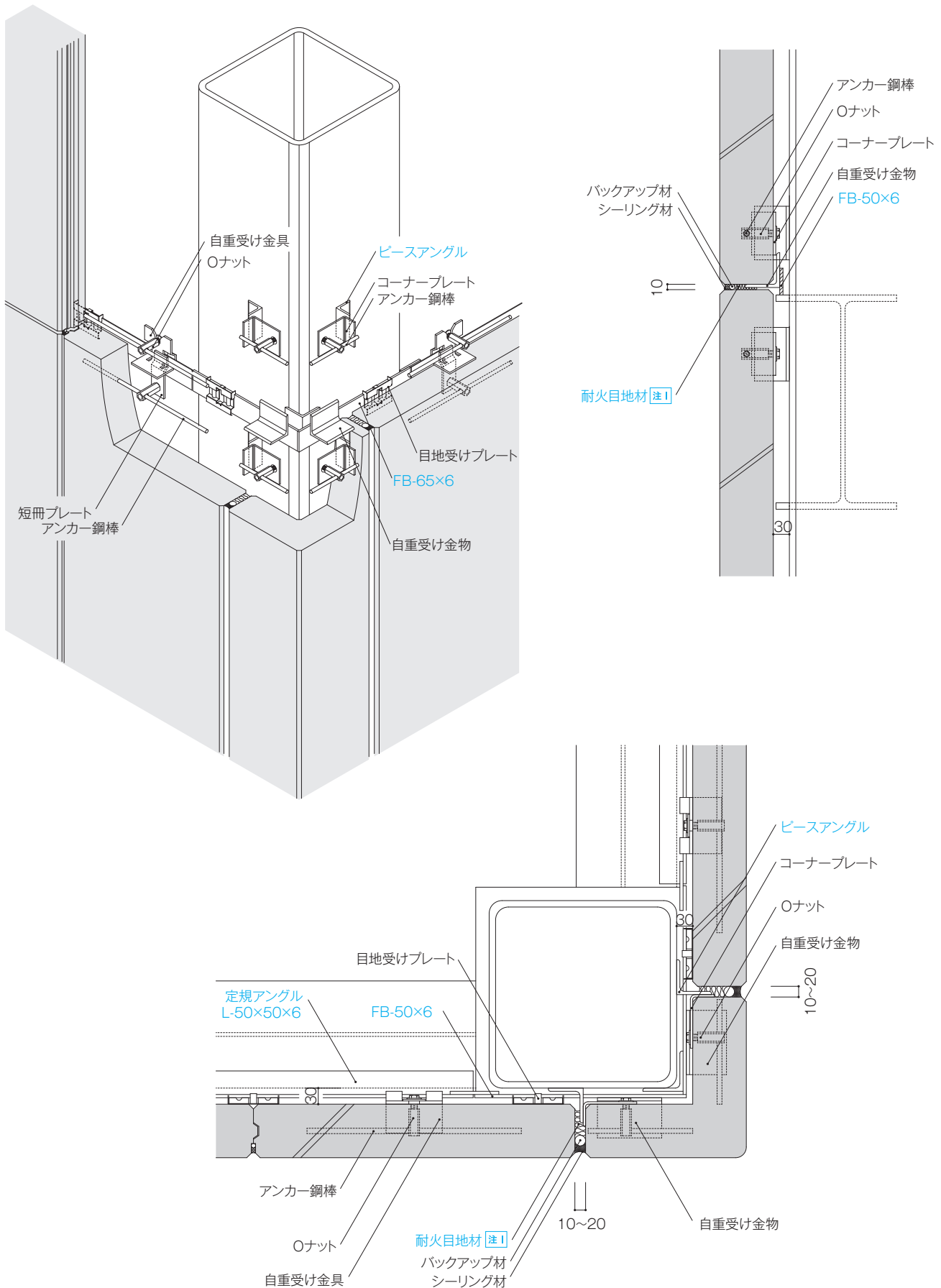
V 床

VI 仕上げと防水

VII 設計時ポイント

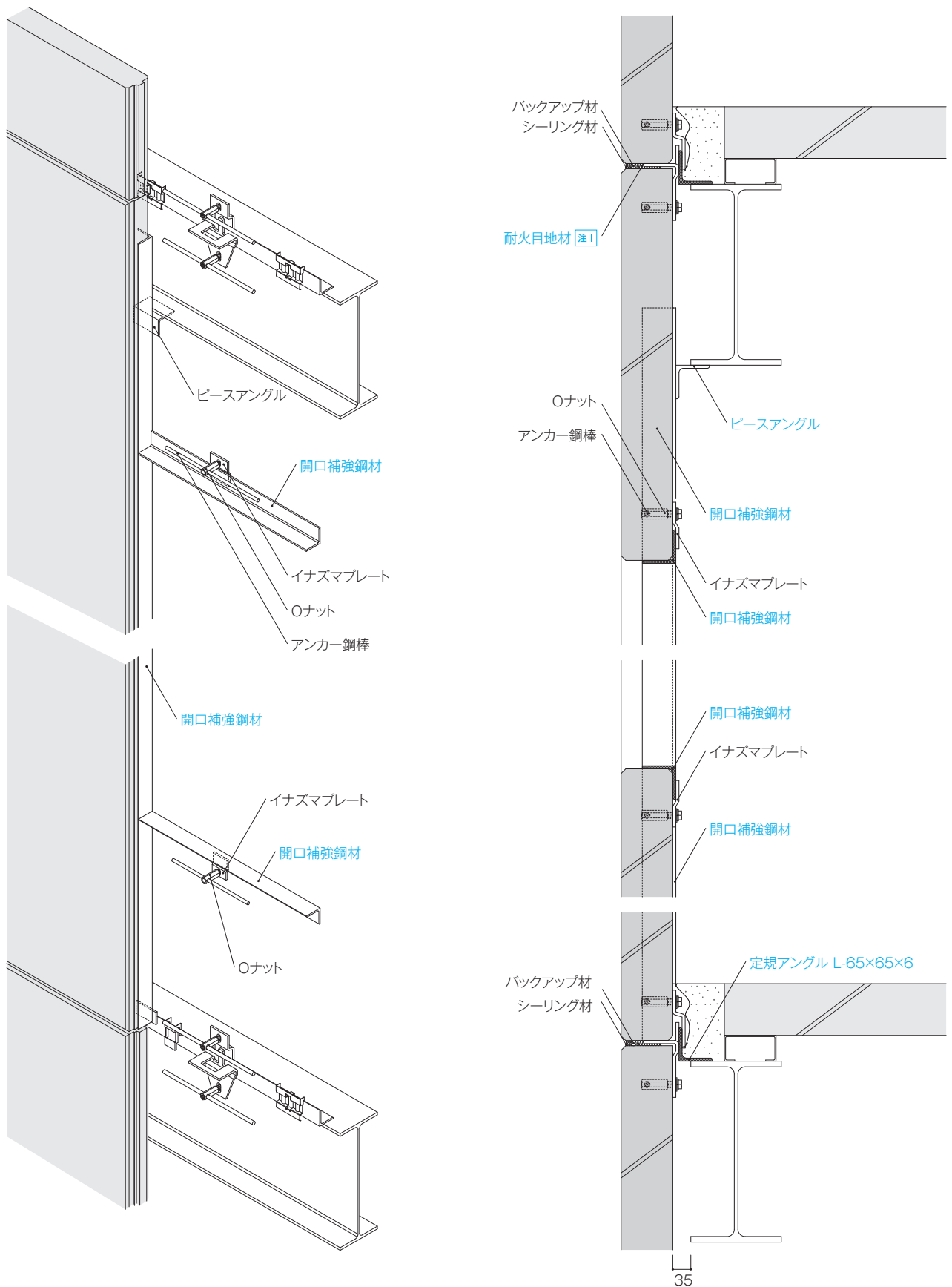
VIII 施工

出隅部 / G 部 (コーナーパネルを使用する場合)



注1 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

開口部/H部 (Oナット仕様)



※PUB金具仕様もご採用いただけます。詳しくは縦壁HDR構法(一般用または中低層用)をご参照ください。